

2019年(平成31年)3月期 第2四半期 決算説明資料



2018年 11月6日

株式会社 小森コーポレーション

決算概要 P/L

(単位:億円)

		2019/3 上期実績	2018/3 上期実績	差額	前年 同期比	2019/3 上期計画	差額	計画比
受注高		428	418	10	102%	490	△62	87%
売上高		402	428	△25	94%	435	△33	92%
営業利益		△3	4	△7	-	1	△4	-
経常利益		1	13	△12	8%	2	△1	48%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		△2	11	△13	-	1	△3	-
平均レート(円)	US\$	110.07	111.42	/		107.12	/	
	EUR	129.88	126.63			127.51		
期末レート(円)	US\$	113.57	112.73			105.00		
	EUR	132.14	132.85			125.00		

主な資産・負債

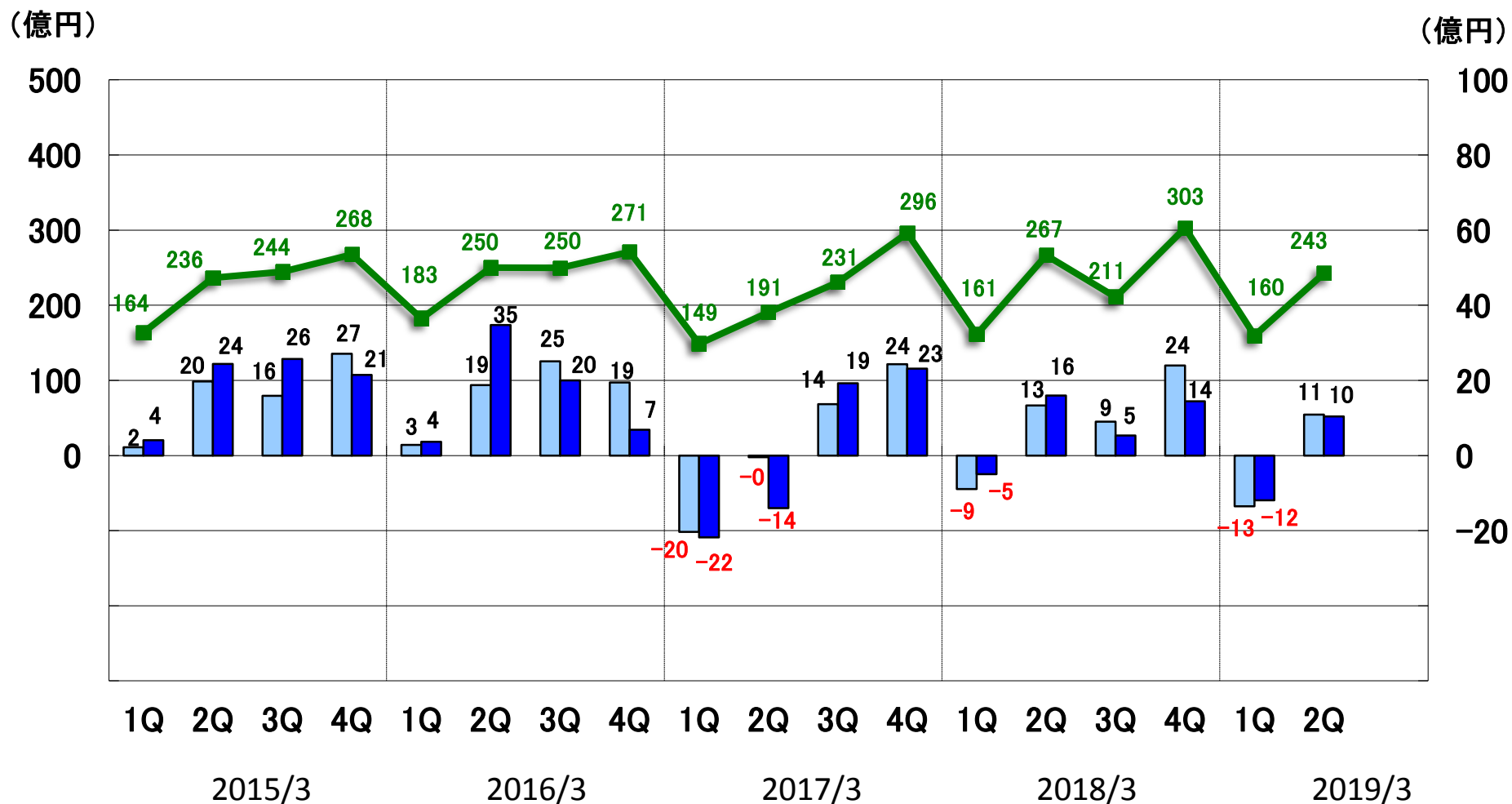
(単位:億円)

	当上期末 2018.9.30	前期末 2018.3.31	差額
現金・預金	443	431	12
売上債権	195	266	△71
有価証券	214	207	7
棚卸資産	337	278	59
うち製品	157	118	39
有形固定資産	321	328	△6
無形固定資産	19	21	△1
仕入債務	219	189	30
短期借入金	7	2	5
社債	100	100	0
長期借入金	0	0	0
株主資本	1,289	1,302	△13
総資産	1,816	1,812	4

注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており一部科目(繰延税金資産・繰延税金負債)の組替え(資産と負債の相殺含む)をしております。比較対象とする前期末の貸借対照表の表示についても同様に組替えられた数値で表示しており、その結果、前期末の総資産の額が、変わっております。

売上高・損益の推移

■ 売上高(左目盛)
 ■ 営業利益(右目盛)
 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益(右目盛)



地域別受注高

(単位: 億円)

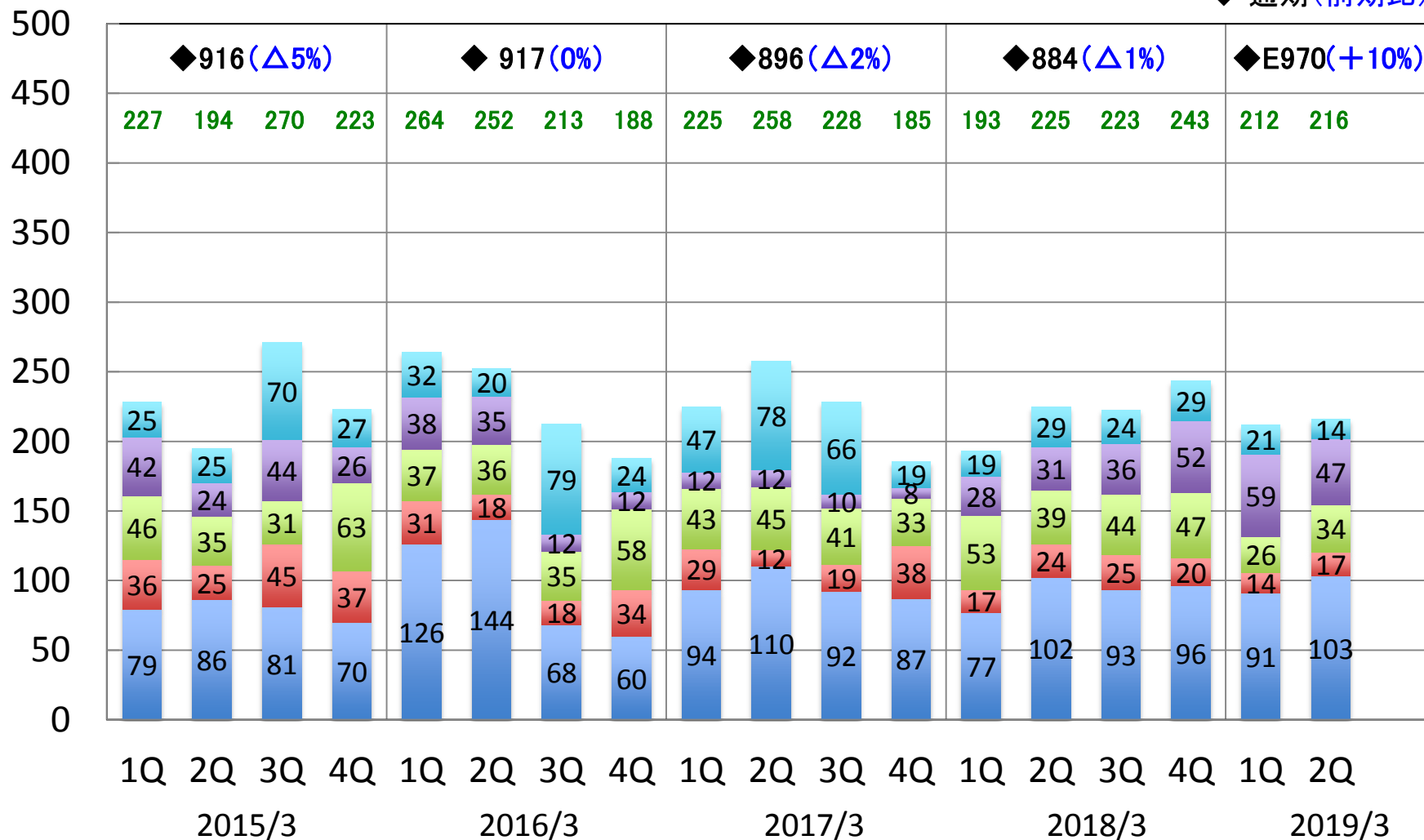
	2019/3 上期実績	2018/3 上期実績	前年 同期比
日 本	194	179	108%
北 米	32	40	79%
(百万ドル)	(29)	(36)	(79%)
欧 州	60	92	65%
(百万ユーロ)	(46)	(73)	(64%)
中 華 圏	106	59	181%
そ の 他 地 域	35	47	74%
合 計	428	418	102%

地域別受注高

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中華圏 ■ その他地域

(億円)

◆ 通期(前期比)



品目別受注高

(単位：億円)

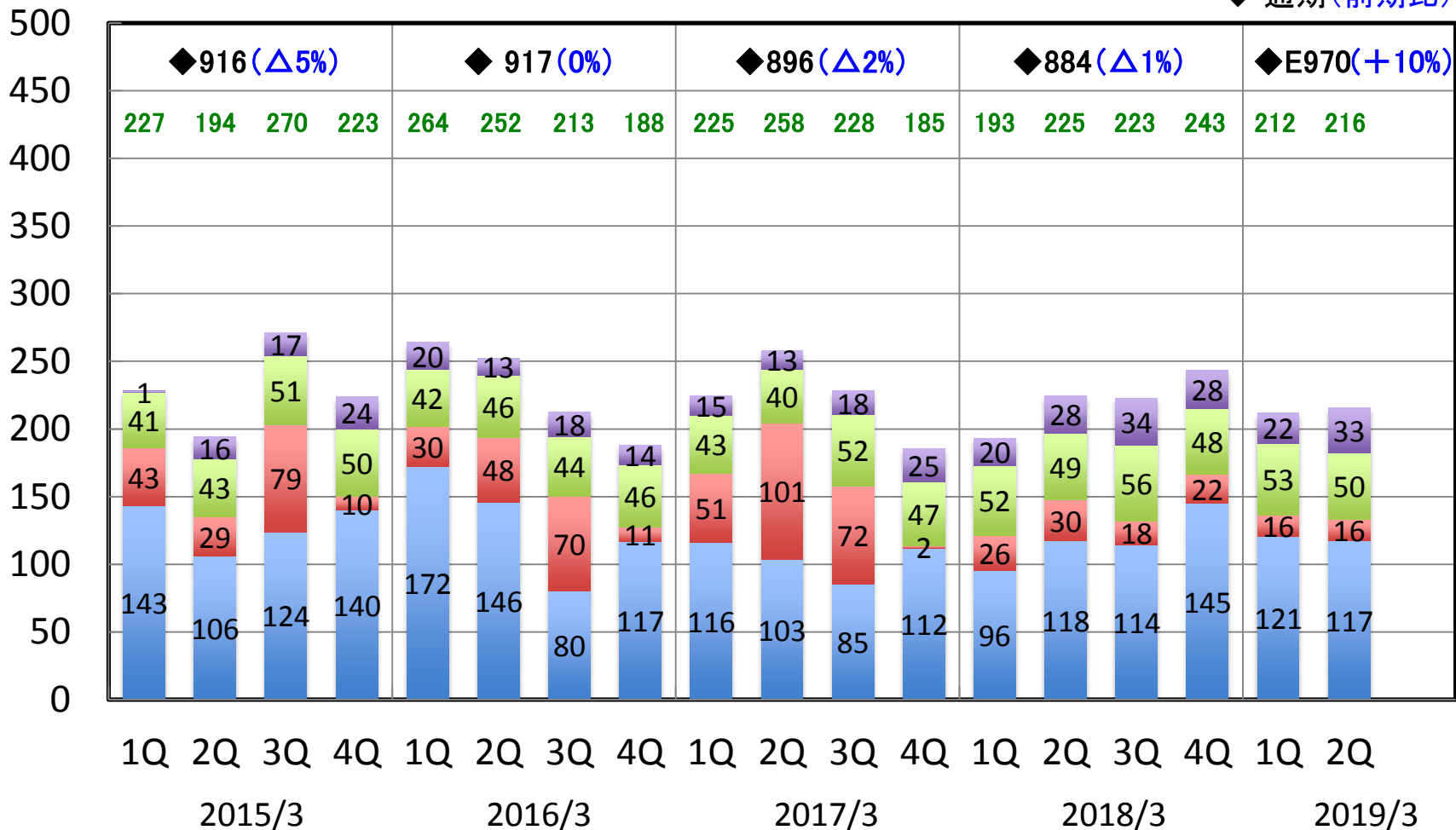
	2019/3 上期実績	2018/3 上期実績	前年 同期比
枚 葉 機	238	213	112%
輪転機・証券印刷機	31	55	56%
中古機・部品修理	103	101	102%
DPS・PE・その他	56	48	115%
合 計	428	418	102%

品目別受注高

■ 枚葉機 ■ 輪転機・証券印刷機 ■ 中古・部品修理 ■ DPS・PE・その他

(億円)

◆ 通期(前期比)

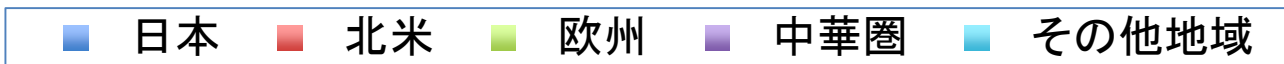


地域別売上高

(単位：億円)

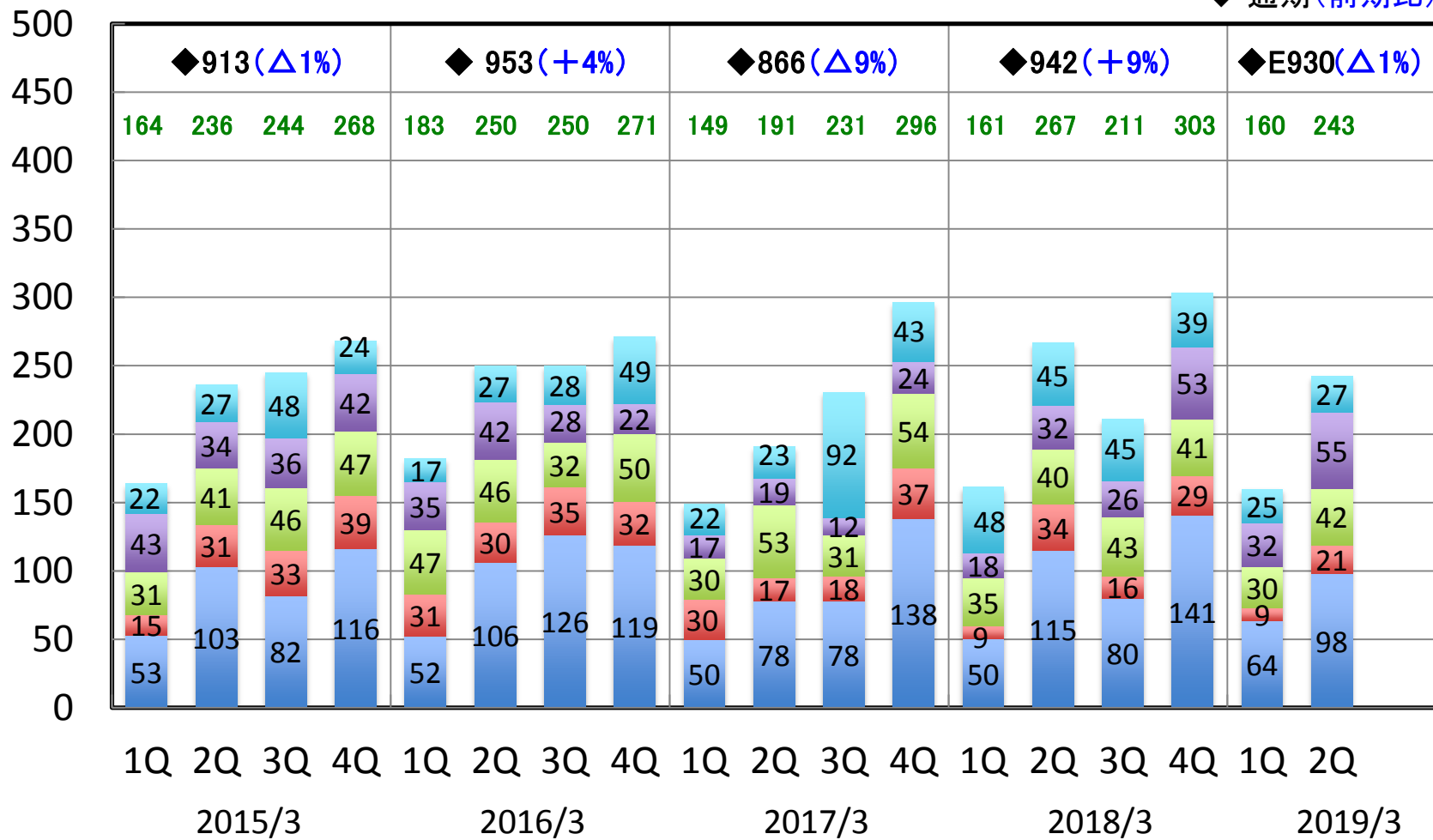
	2019/3 上期実績	2018/3 上期実績	前年 同期比
日 本	162	165	98%
北 米	30	43	69%
(百万ドル)	(27)	(39)	(70%)
欧 州	72	76	95%
(百万ユーロ)	(55)	(60)	(92%)
中 華 圏	88	50	174%
そ の 他 地 域	52	93	55%
合 計	402	428	94%

地域別売上高



(億円)

◆ 通期(前期比)



品目別売上高

(単位：億円)

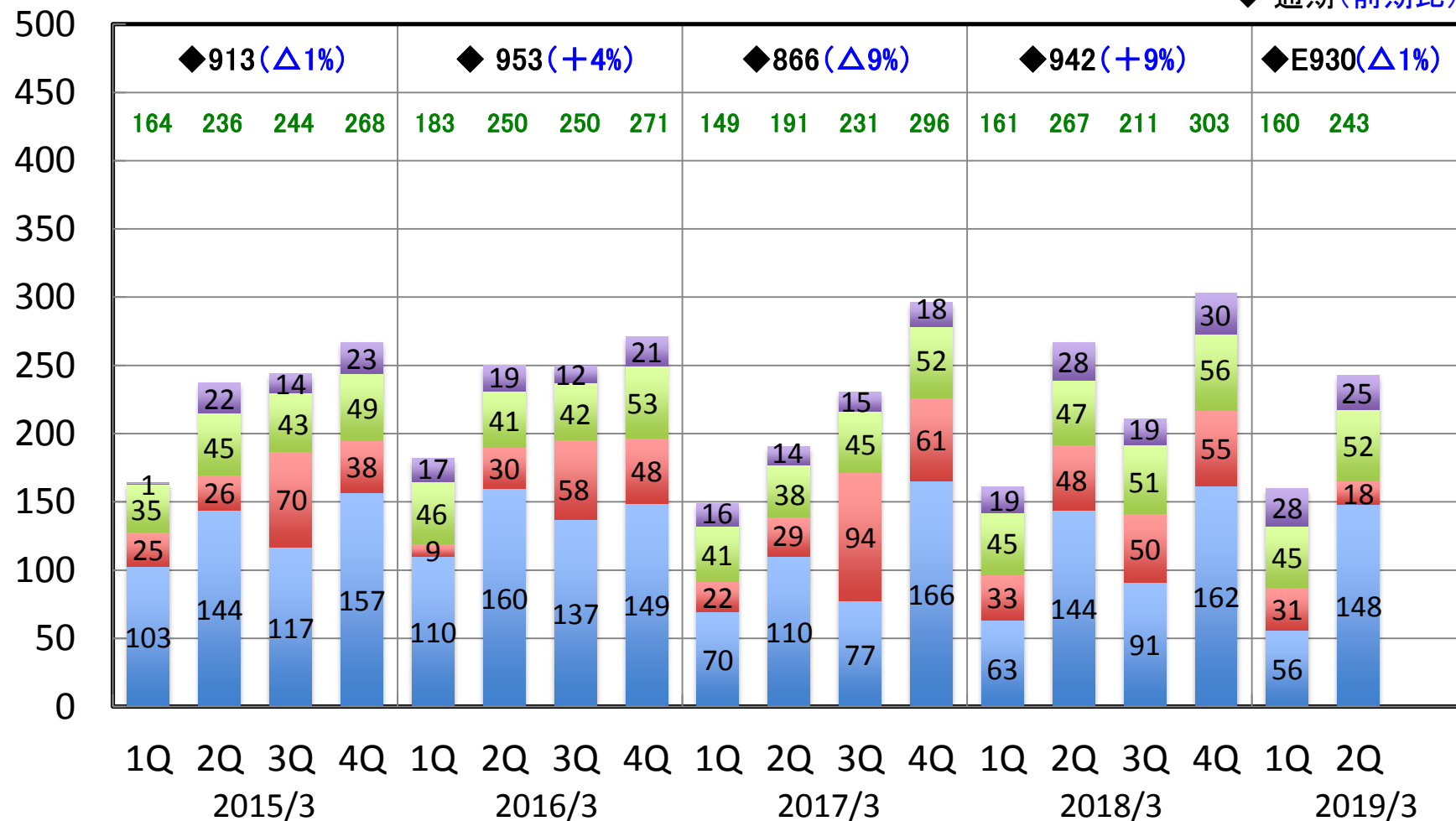
	2019/3 上期実績	2018/3 上期実績	前年 同期比
枚 葉 機	204	208	98%
輪転機・証券印刷機	49	81	61%
中古機・部品修理	97	93	105%
DPS・PE・その他	52	47	112%
合 計	402	428	94%

品目別売上高

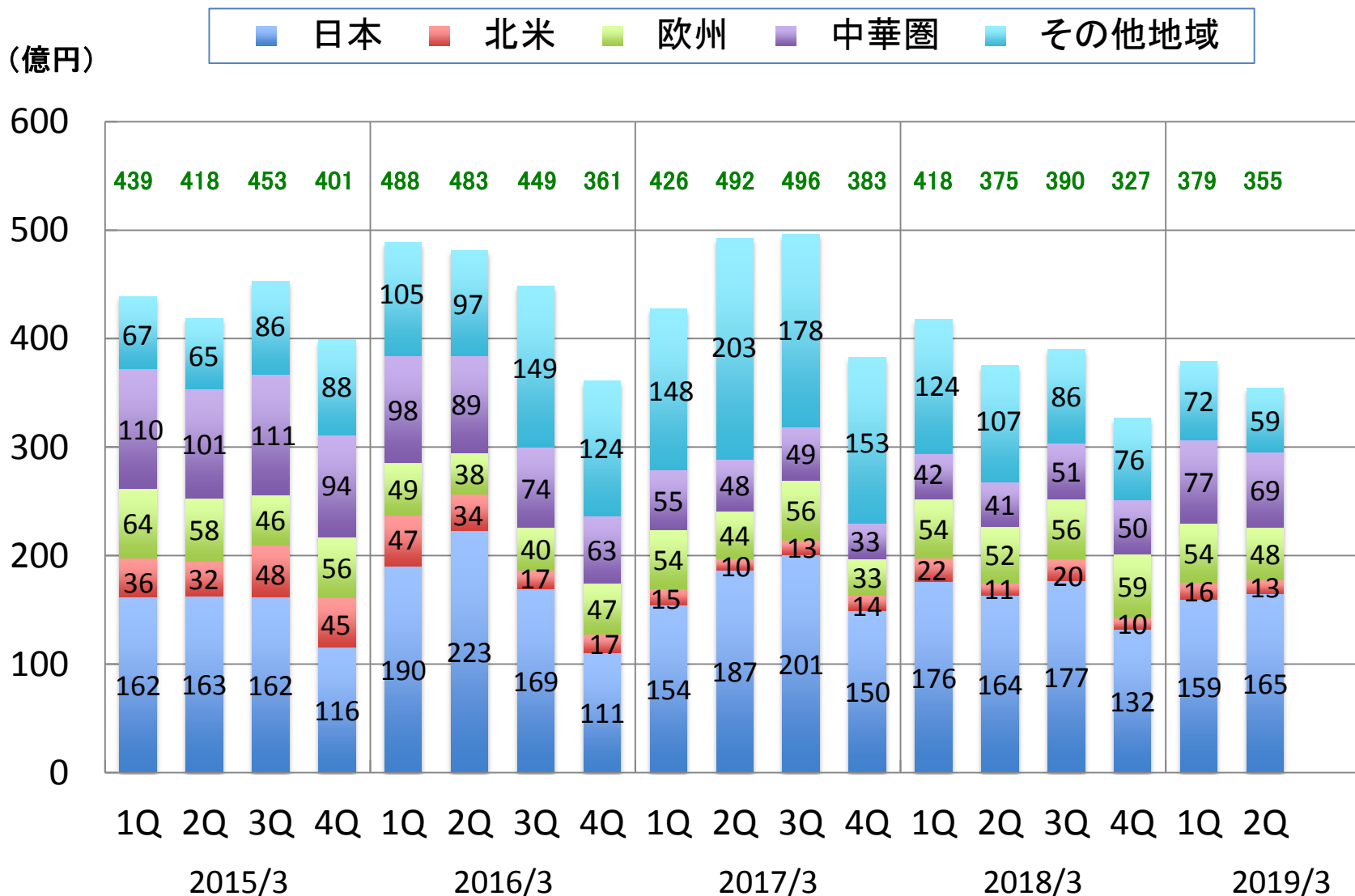
■ 枚葉機 ■ 輪転機・証券印刷機 ■ 中古・部品修理 ■ DPS・PE・その他

◆ 通期(前期比)

(億円)

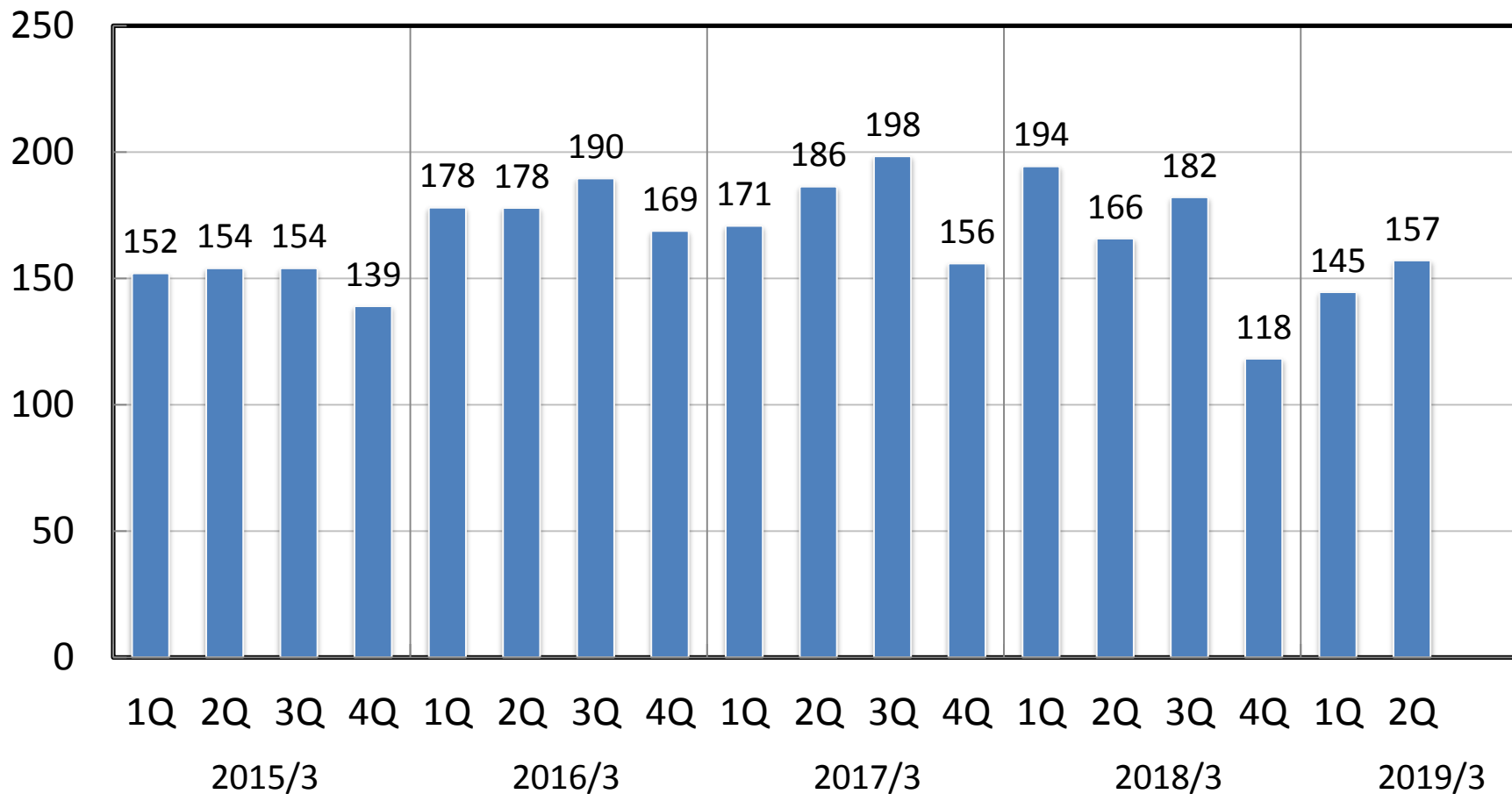


受注残高の推移



製品在庫の推移(原価ベース)

(億円)



上期営業損益の変動要因(対 前年同期比)



業績見通し

(単位:億円)

		2019/3 上期実績	<2Q修正> 2019/3 下期計画	<2Q修正> 2019/3 通期計画	2018/3 前期実績	差額	前期比	2019/3 期初 通期計画	差額	期初 計画比				
受注高		428	542	970	884	86	110%	1,010	△40	96%				
売上高		402	528	930	942	△12	99%	1,010	△80	92%				
営業利益		△3	18	15	37	△22	40%	31	△16	48%				
経常利益		1	17	18	44	△26	41%	32	△14	56%				
親会社株主に帰属する 四半期純利益		△2	13	11	31	△20	36%	27	△16	41%				
平均レート(円)	US\$	110.07	105.00	107.73	110.81	/	/	106.14	/	/				
	EUR	129.88	125.00	127.63	129.45			126.35						
期末レート(円)	US\$	113.57	105.00	105.00	106.24			/			/	105.00	/	/
	EUR	132.14	125.00	125.00	130.52							125.00		

地域別受注高 予想

(単位:億円)

	2019/3 上期実績	<2Q修正> 2019/3 下期計画	<2Q修正> 2019/3 通期計画	2018/3 前期実績	差額	前期比
日 本	194	236	430	368	62	117%
北 米	32	54	86	85	1	101%
(百万ドル)	(29)	(51)	(80)	(77)	(3)	(104%)
欧 州	60	81	141	183	△42	77%
(百万ユーロ)	(46)	(64)	(111)	(141)	(△31)	(78%)
中 華 圏	106	83	189	147	42	129%
そ の 他 地 域	35	88	123	100	23	123%
合 計	428	542	970	884	86	110%

品目別受注高 予想

(単位:億円)

	2019/3 上期実績	<2Q修正> 2019/3 下期計画	<2Q修正> 2019/3 通期計画	2018/3 前期実績	差額	前期比
枚 葉 機	238	272	510	472	38	108%
輪転機・証券印刷機	31	71	102	95	7	107%
中古機・部品修理	103	116	219	205	14	107%
DPS・PE・その他	56	83	138	111	27	124%
合 計	428	542	970	884	86	110%

地域別売上高 予想

(単位:億円)

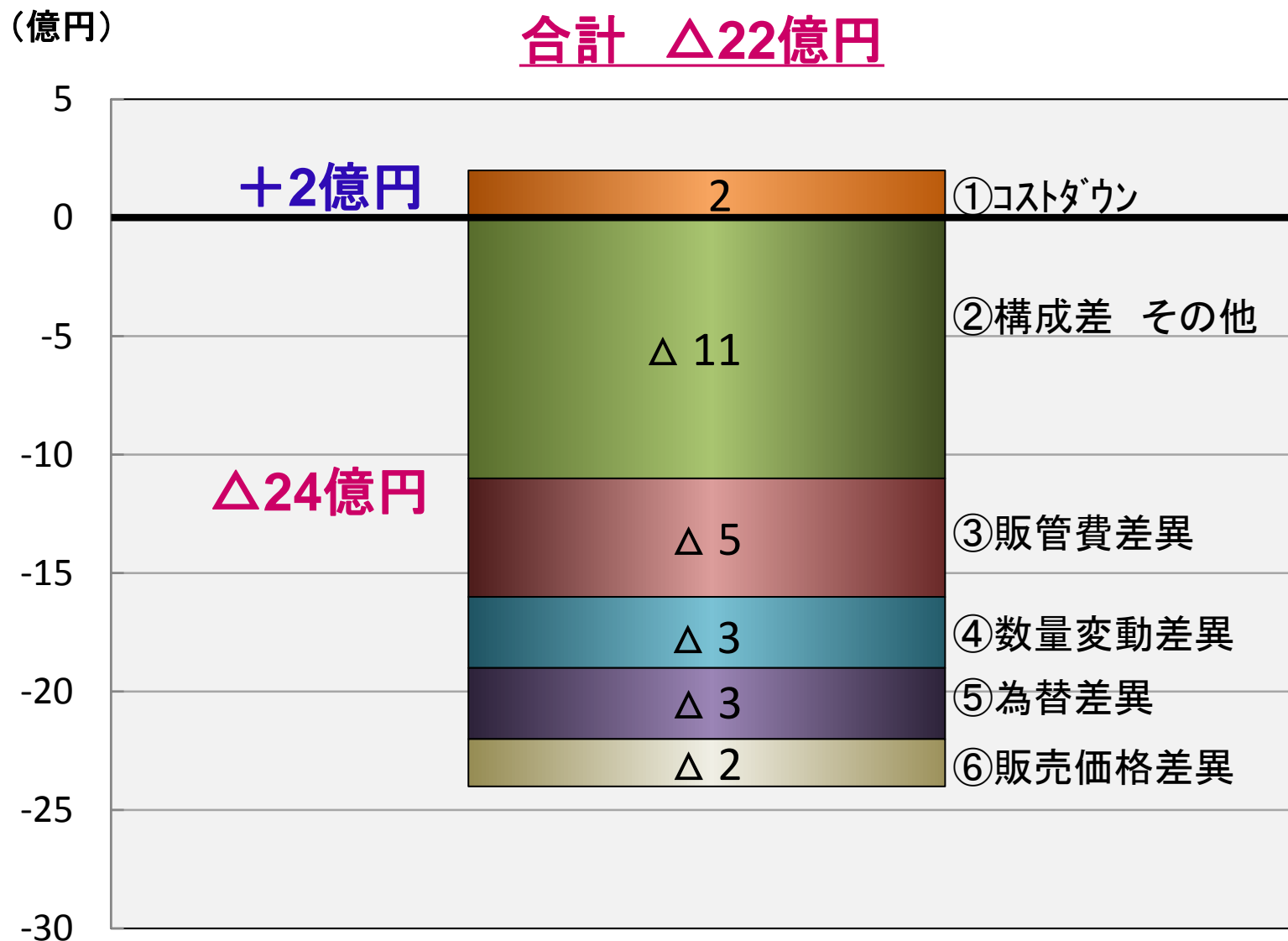
	2019/3 上期実績	<2Q修正> 2019/3 下期計画	<2Q修正> 2019/3 通期計画	2018/3 前期実績	差額	前期比
日 本	162	232	393	386	8	102%
北 米	30	62	92	89	3	104%
(百万ドル)	(27)	(58)	(85)	(80)	(5)	(107%)
欧 州	72	77	148	160	△12	93%
(百万ユーロ)	(55)	(61)	(116)	(124)	(△7)	(94%)
中 華 圏	88	90	177	129	48	137%
そ の 他 地 域	52	68	119	178	△58	67%
合 計	402	528	930	942	△12	99%

品目別売上高 予想

(単位:億円)

	2019/3 上期実績	<2Q修正> 2019/3 下期計画	<2Q修正> 2019/3 通期計画	2018/3 前期実績	差額	前期比
枚 葉 機	204	299	503	461	42	109%
輪転機・証券印刷機	49	43	92	186	△94	50%
中古機・部品修理	97	110	207	199	9	104%
DPS・PE・その他	52	76	128	96	32	133%
合 計	402	528	930	942	△12	99%

通期営業損益(予想)の変動要因(対 前期比)



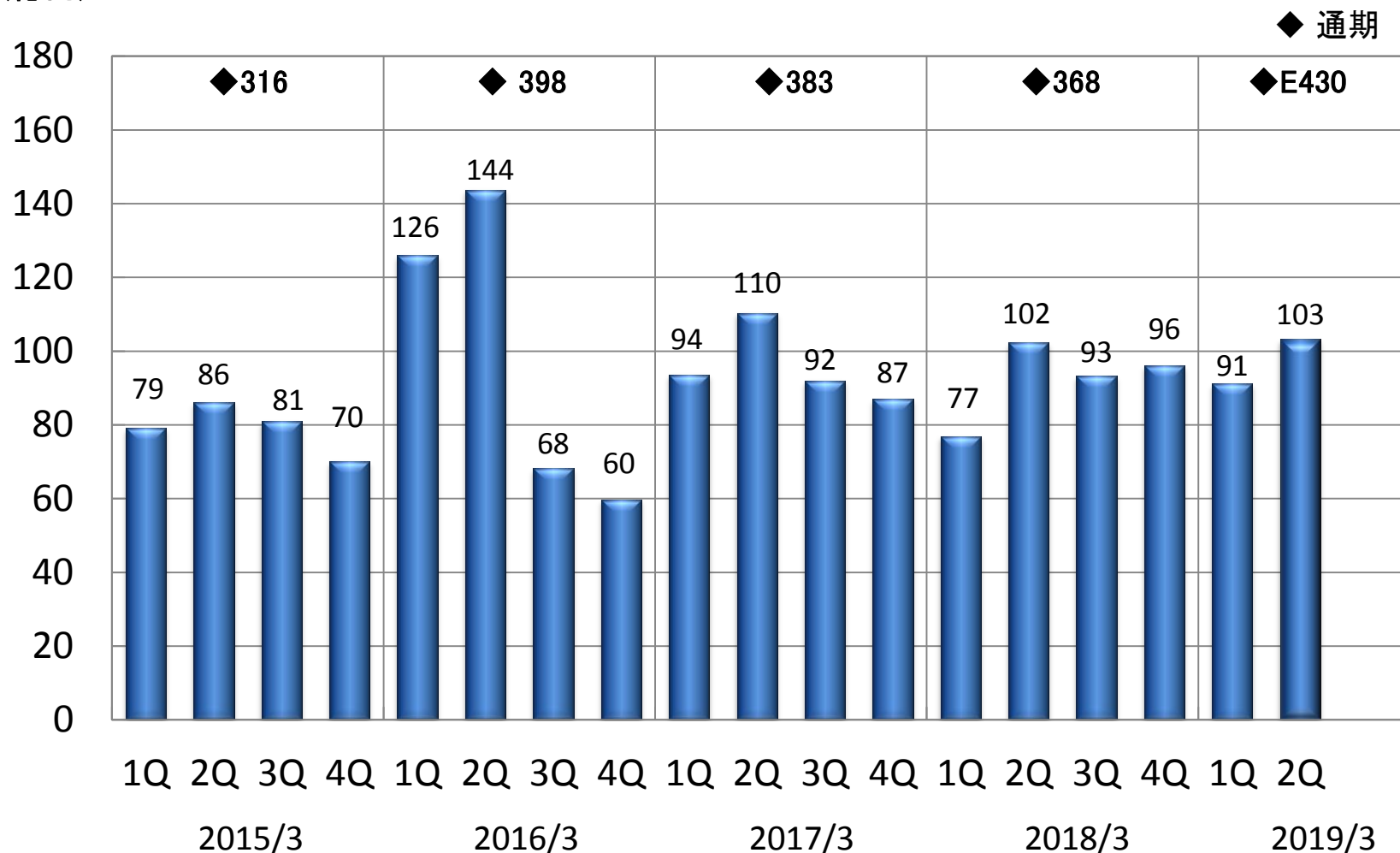
設備投資・減価償却費・開発費

(単位:百万円)

	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3 上期	2019/3 予想
従業員数(名)	1,784	2,106	2,189	2,195	2,227	2,281	2,360
人件費	16,972	19,796	20,495	20,317	20,245	10,475	20,800
設備投資額	1,367	2,116	3,126	1,455	1,201	446	1,850
減価償却費	2,172	1,860	2,027	2,133	1,889	937	1,970
研究開発費	4,184	5,123	4,975	4,885	4,785	2,336	4,650
(売上高比)	(4.6%)	(5.6%)	(5.2%)	(5.6%)	(5.1%)	(5.8%)	(5.0%)

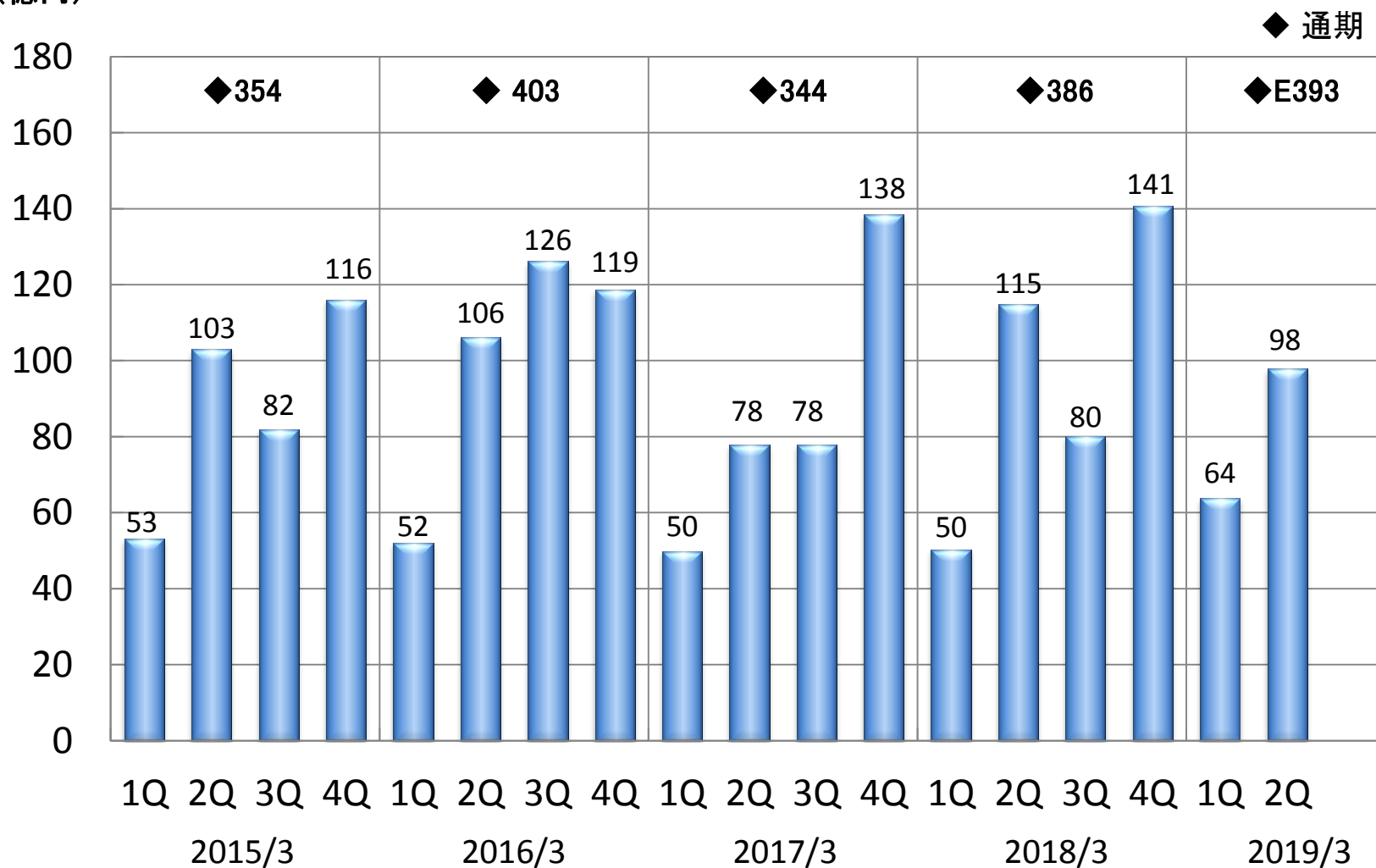
日本 受注高

(億円)



日本売上高

(億円)



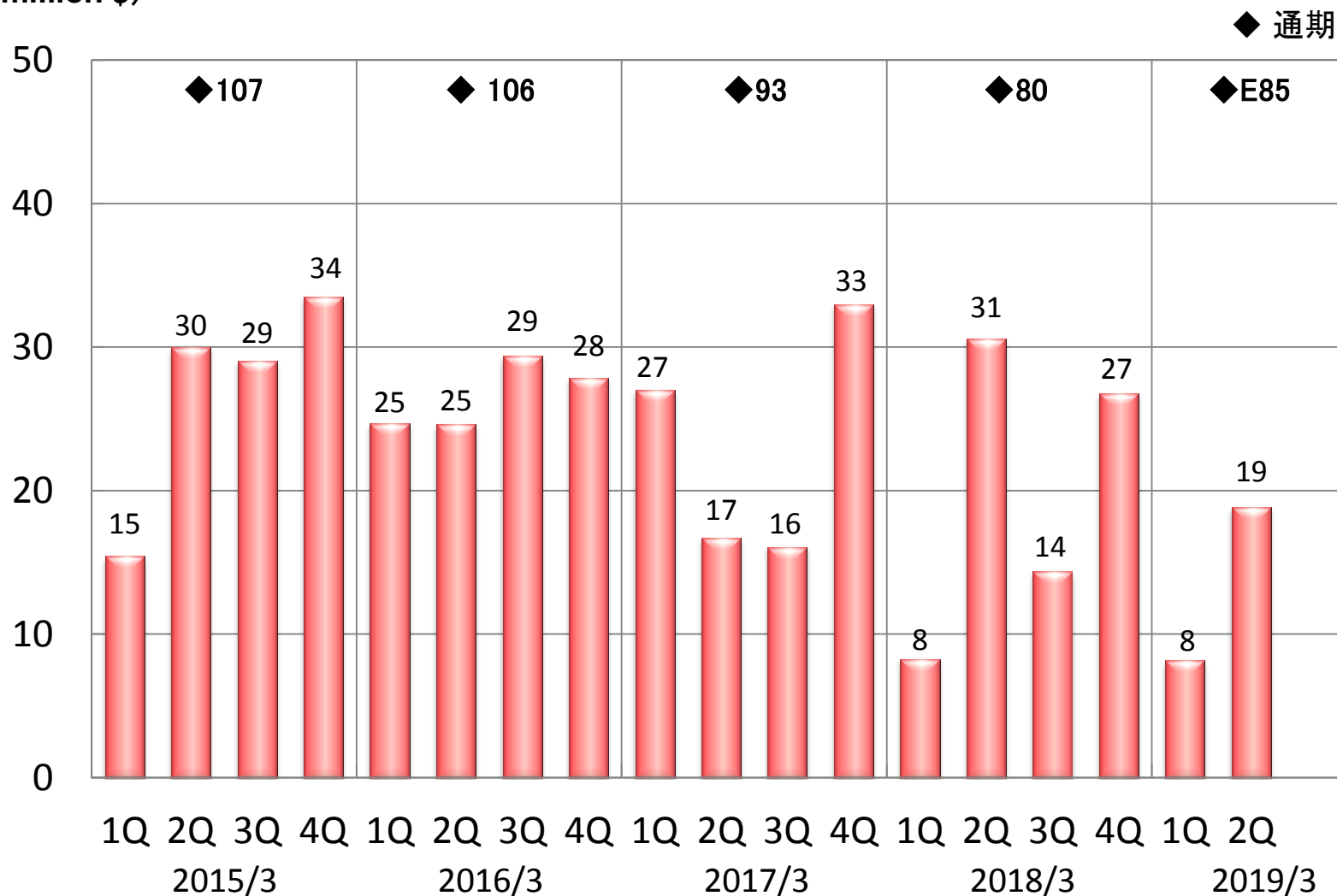
北米 受注高

(million \$)



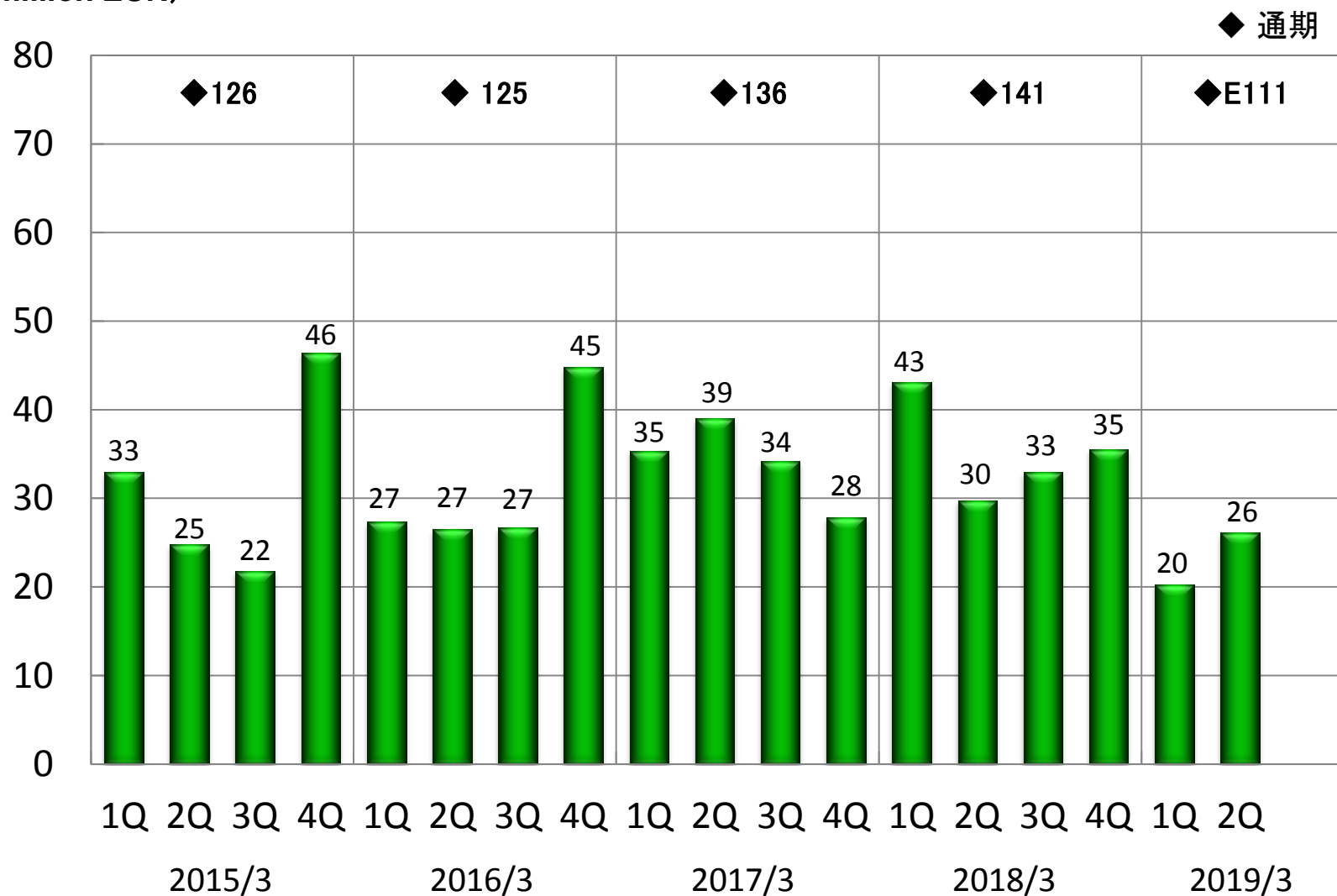
北米売上高

(million \$)



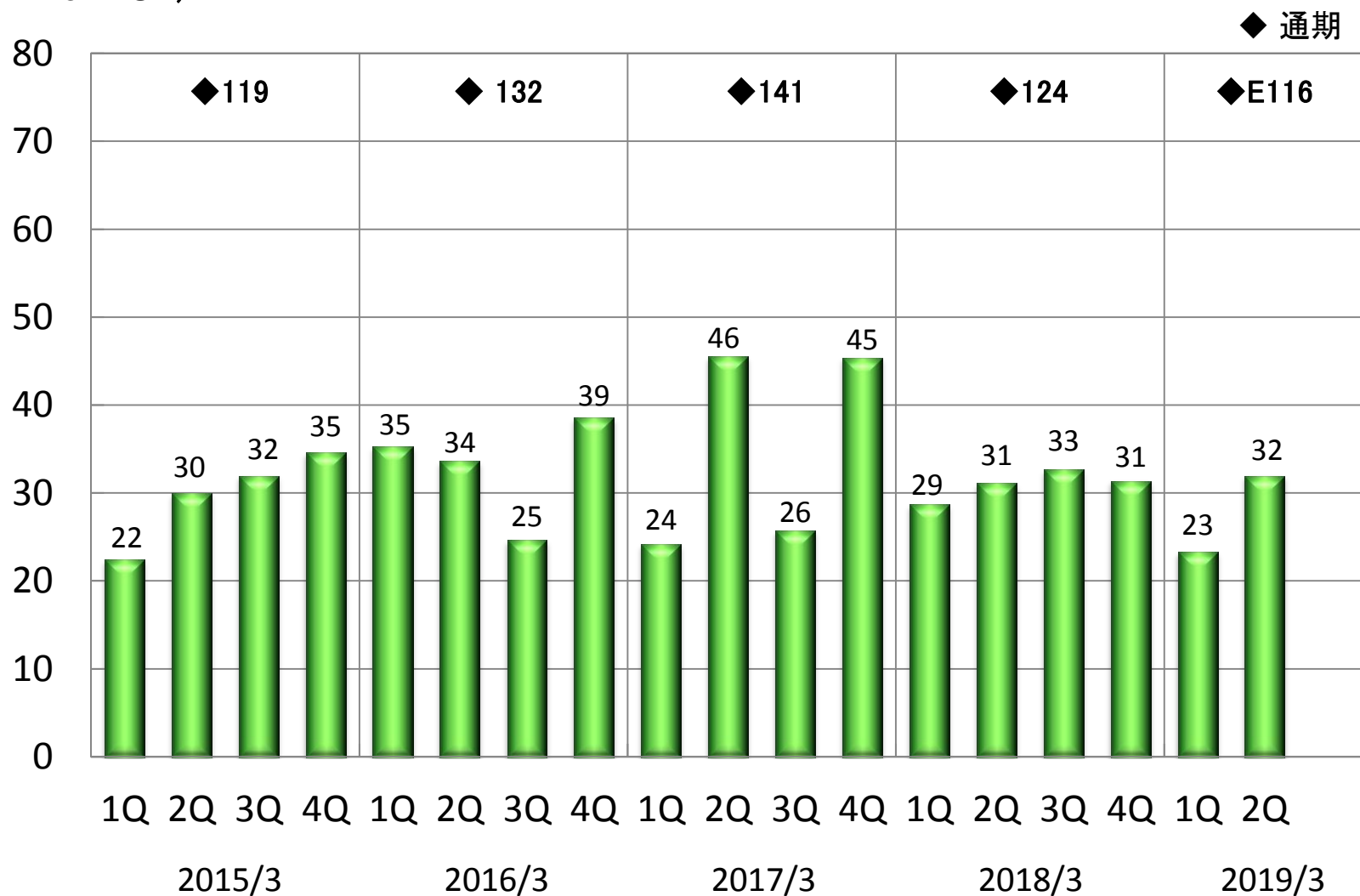
欧州 受注高

(million EUR)



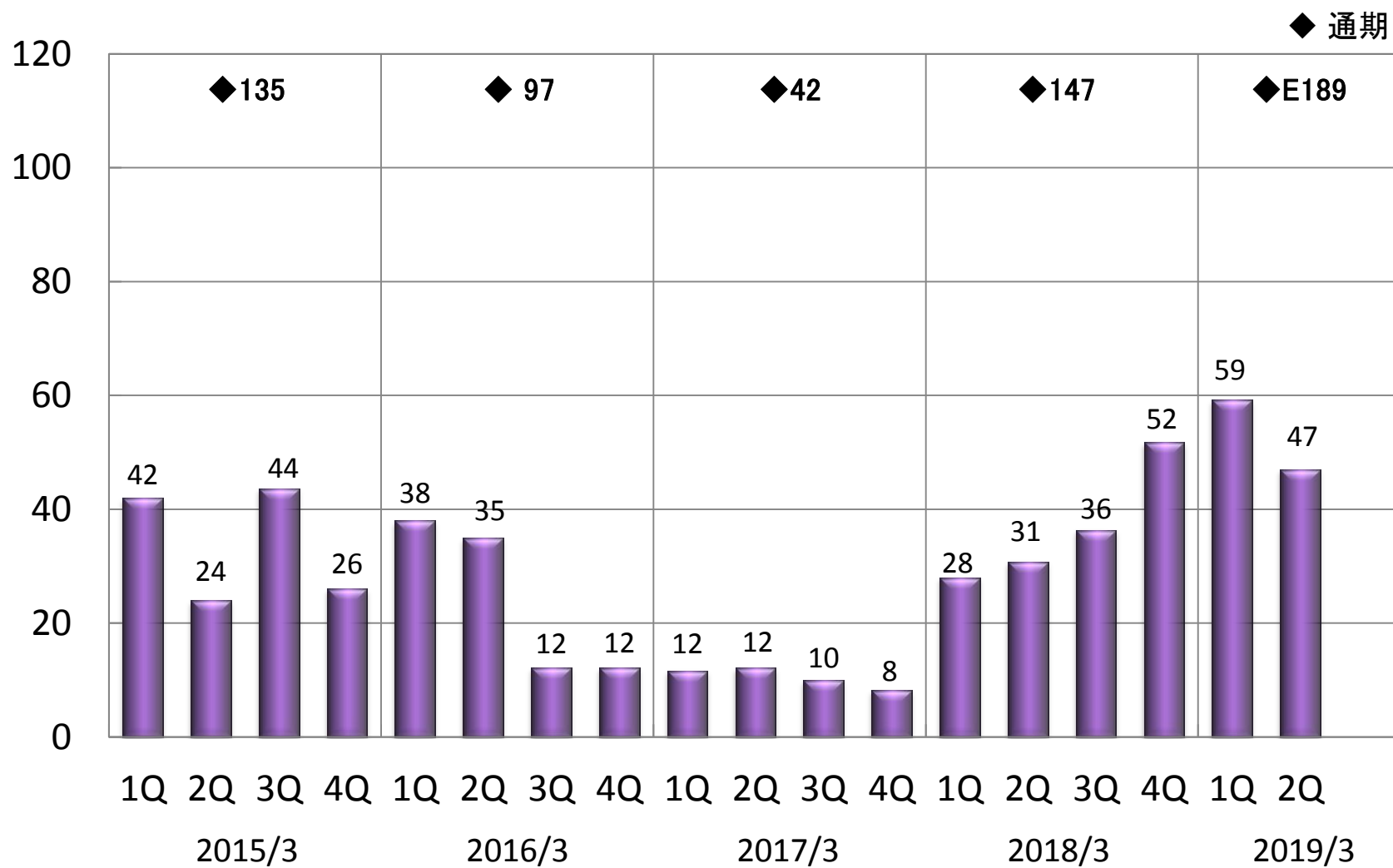
欧州 売上高

(million EUR)



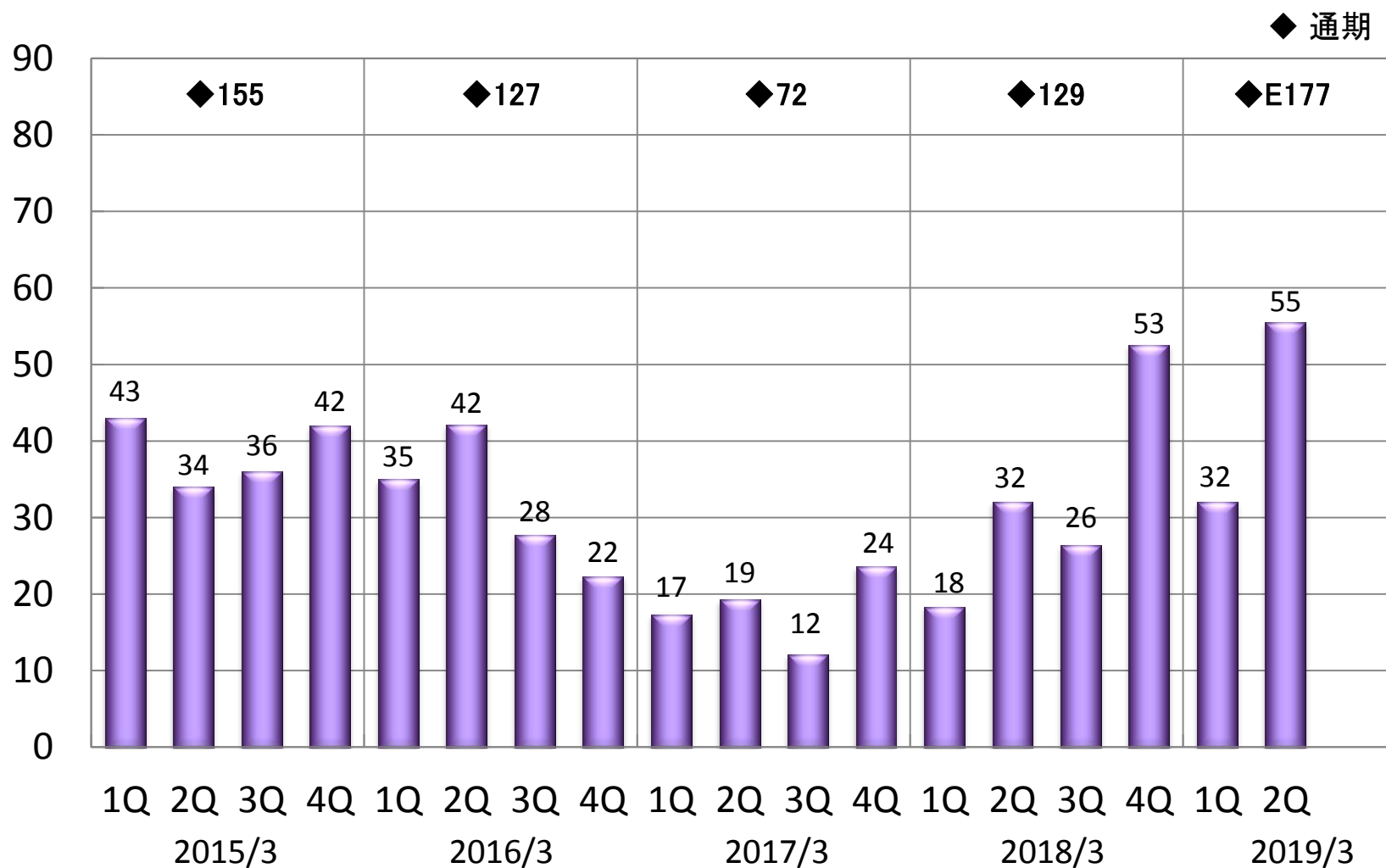
中華圏 受注高

(億円)



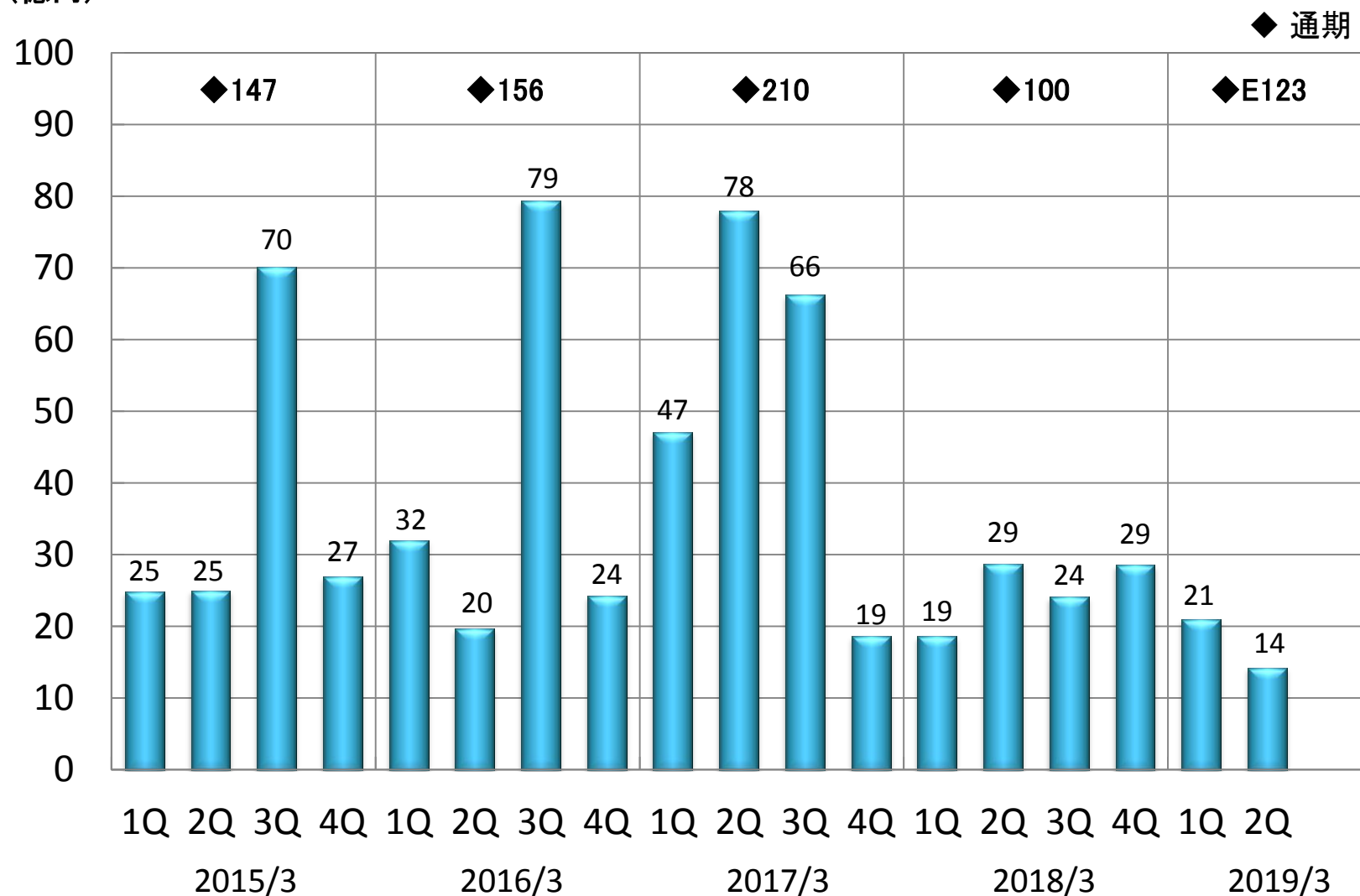
中華圏売上高

(億円)

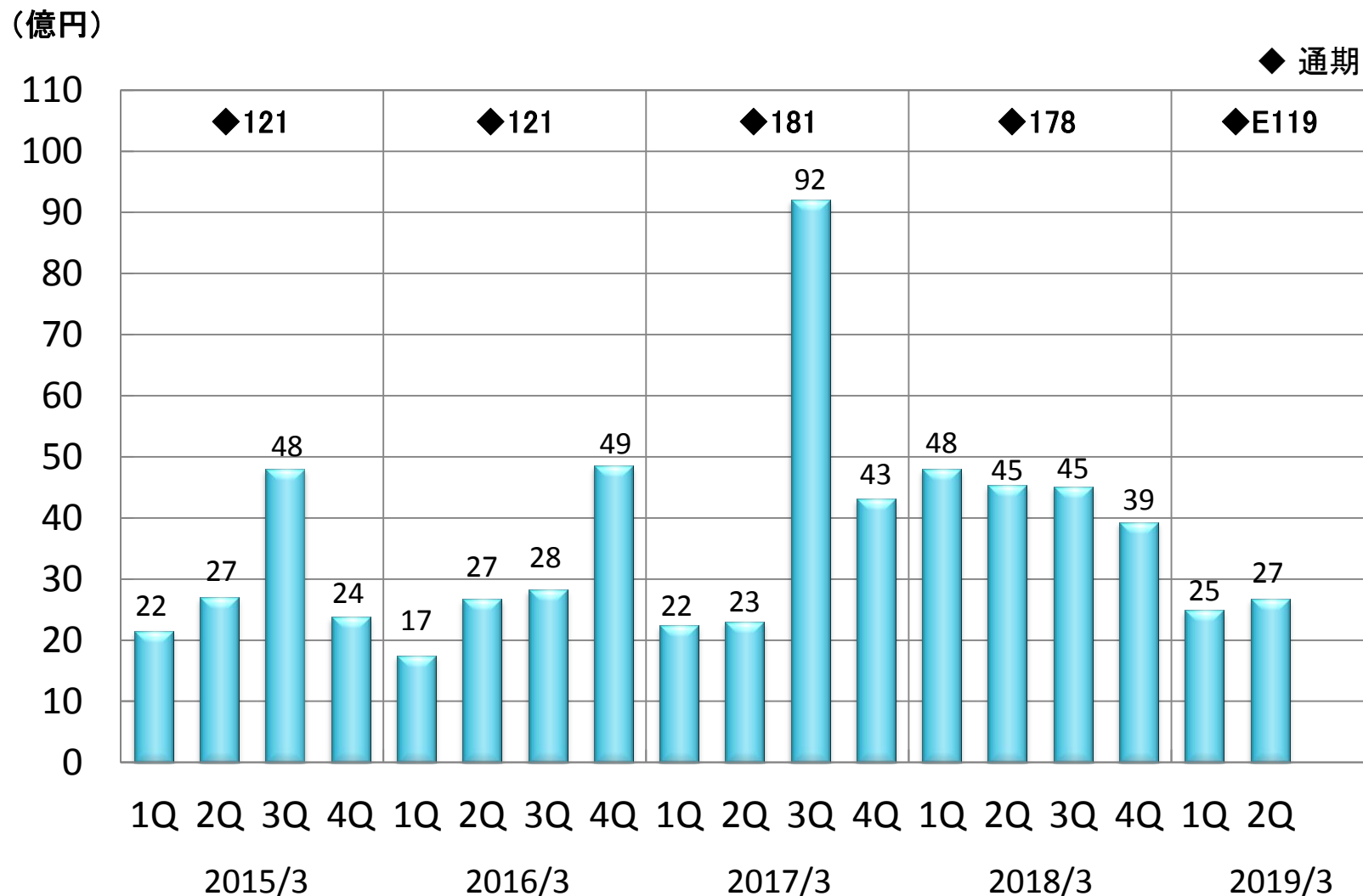


その他地域 受注高

(億円)



その他地域 売上高



2019年（平成31年）3月期 第2四半期 経営概況



2018年11月6日

株式会社小森 コーポレーション

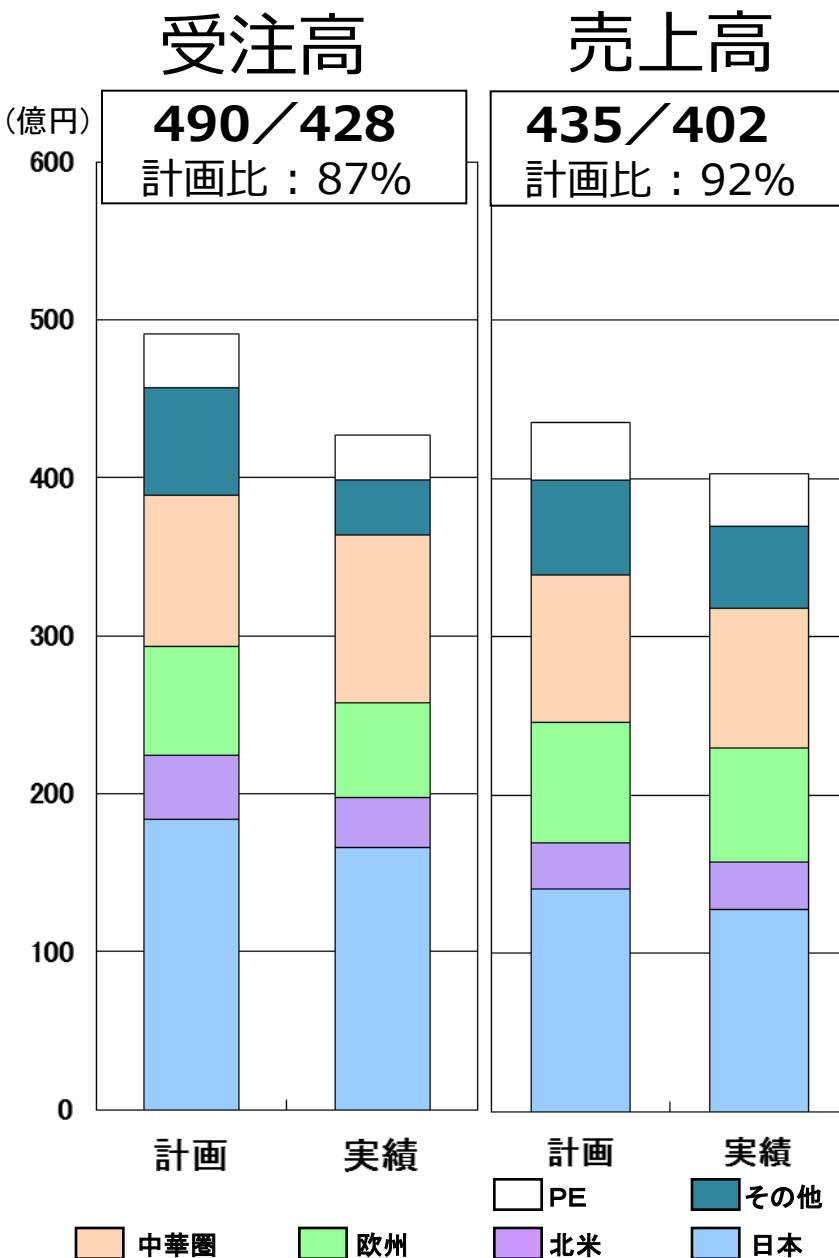
I . 2019年3月期 2Q (4月～9月) 実績

決算概要 P/L

(単位:億円)

		2019/3 上期実績	2018/3 上期実績	差額	前年 同期比	2019/3 上期計画	差額	計画比
受注高		428	418	10	102%	490	△62	87%
売上高		402	428	△25	94%	435	△33	92%
営業利益		△3	4	△7	-	1	△4	-
経常利益		1	13	△12	8%	2	△1	48%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		△2	11	△13	-	1	△3	-
平均レート(円)	US\$	110.07	111.42	/		107.12	/	
	EUR	129.88	126.63			127.51		
期末レート(円)	US\$	113.57	112.73			105.00		
	EUR	132.14	132.85			125.00		

2019年3月期2Q計画実績比較



	計画との差異	主な要因
日本	△ 1 7	<ul style="list-style-type: none"> ・枚葉機は書籍、商印での設備投資は依然として慎重の一方でパッケージは好調。 ・オフ輪、DPS/PESP事業は販売時期の延期もあり苦戦。DPSはIGAS以降引き合い好調。
	△ 1 3	
北米	△ 8 (△9)	<ul style="list-style-type: none"> ・オフセット機の設備投資は依然として慎重だが、中でも高付加価値機、ワンパス大型機の引き合いは堅調。 ・DPS機市場は活況で引合いは多数、堅調。
	+ 1 (△0)	
欧州	△ 9 (△9)	<ul style="list-style-type: none"> ・仏国、設備減税終了の反動。英国、BREXITの影響、受注、売上げ 共に減少。 ・東欧 (ポーランド、ルーマニア、ラトビア) では助成金の影響により受注が増加。
	△ 4 (△5)	
中華圏	+ 1 0	<ul style="list-style-type: none"> ・内需の好調により、内資及びW2Pから主に標準機とRP機の商談が多く受注が好調。 ・大手を中心に自動化、省力化、両面ワンパス機を中心とした高付加価値機の受注が好調。
	△ 6	
その他	△ 3 3	<ul style="list-style-type: none"> ・新興国通貨安 (インド・インドネシア・フィリピン) の影響で販売計画が大幅未達。 ・南米は景気低迷、設備先送り傾向。 ・証印は、大型一括販売の検収が順調に推移。受注は大型商談の入札遅延により計画未達。入札の引き合いは好調で下半期期待する。
	△ 8	
PE	△ 6	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品業界の活況を受け国内は計画達成。海外販売は目標未達。
	△ 3	
全社	△ 6 2	上段：受注 下段：売上 単位：億円 () : 現地通貨m\$, m€
	△ 3 3	

主 催：一般社団法人日本印刷産業機械工業会（JPMA）
プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会
期 間：2018年7月26日(木)～31日(火)
会 場：東京ビッグサイト 東展示棟
来場者：約5万6千人（前回並み）



INNOVATE TO CREATE



Ⅱ.事業別上期成果と下期計画の重要施策

オフセット印刷機事業

- ・日本、中国、インド・ASEANの重点市場に市場要望の高い新商品（GL40/44とGL37P）と自動化・省力化等の高付加価値提案を強化し販売拡大を狙う。
- ・KND（インド現地法人）設立を始めとする販売/サービスチャネルを強化する。

上期成果

- ▶ KND（インド現地法人）設立
- ▶ IGAS2018及びPre IGAS開催
 - ・新製品とConnected Automationを提案
- ▶ 戦略製品の拡販
 - ・H-UV機販売実績約1000台達成（2018年9月末）
 - ・GL/GLX/P/RP等のラインアップ完成
 - ・中国W2P向け戦略機の拡販

下期計画の重要施策

- ▶ 日本/中国/インド/アセアン重点市場対策
 - ・戦略機GL37+C及びGL837Pの拡販
 - ・中国ロックダウン機LA437の拡販
- ▶ 自動化・省力化・パッケージ仕様の強化
 - ・パラレルメイクレディ、オートパイロット、
 - ・PQA-SV5等の各種自動化装置の拡販
- ▶ パッケージ/高付加価値機の拡販
 - ・GL40(P)、GLX40(44)P/RP、H-UV/LED-UVの拡販

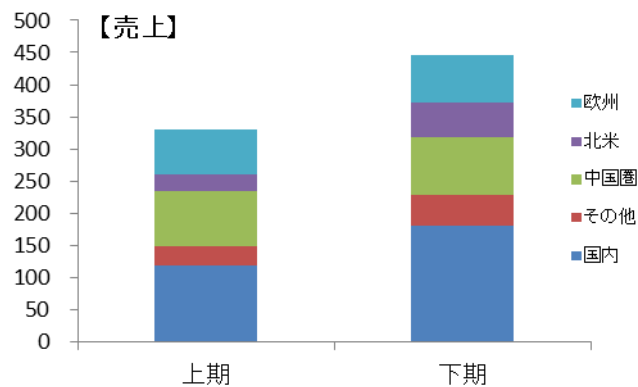


LITHRONE GX40RP

タッチポイントを削減し、省力化要求を最大限サポートする次世代印刷機



LITHRONE G37
ASEAN諸国向け戦略機種



DPS事業

- ・DPS商品コンセプト（バリアブル印刷、高い印刷品質、全ての用紙に印刷可能）を訴求し商談の獲得に向け販促強化を図る。

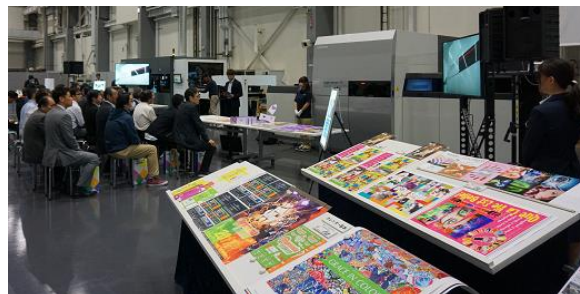
上期成果

- ▶ IGAS効果による商談件数の大幅な増加
- ▶ 国内及び主要国での販促強化
 - ・ビジネスモデル開発
 - ・KP-Connect連携、差別化技術



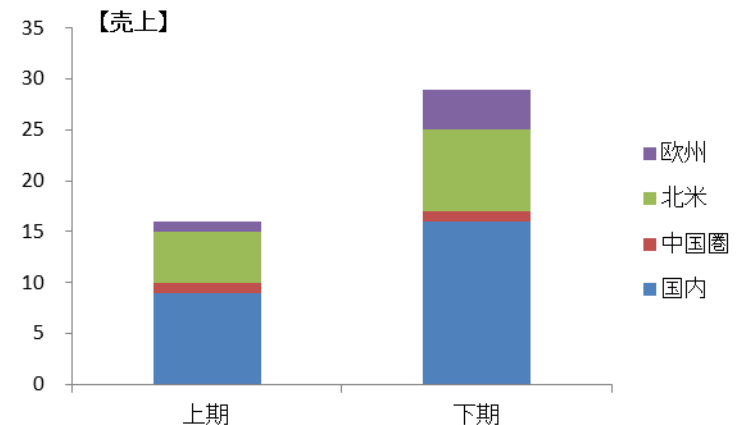
Impremia IS 29

内覧会の様子



下期計画の重要施策

- ▶ 高付加価値、差別化技術提案
 - ・特殊原反、パッケージ対応の販促
- ▶ NS40βテスト機納入、量産化準備（2019年後半市場導入目標）



2019年春に40インチ枚葉ナノグラフィックプリンティングシステムImpremia NS40のフィールドテスト開始を発表



【基本仕様】

型式		Impremia NS40
標準色数		4色(C/M/Y/K) 広色域*
最高印刷速度	sph	6,500
最大紙寸法	mm	750 × 1,050
紙厚寸法	mm	0.06~0.8
出力解像度	dpi	1,200 × 1,200

◆証券印刷機事業

- 各国からの受注は遅延しているが依然として商談は活況に推移している。
- CURRENCY ON Demand推進(生産効率向上、銀行券デザインの進化=偽造防止)を訴求し商談の獲得に向け販促強化を図る。

上期成果

▶受注機の円滑な検収完了

<上期中の検収状況>

- BRB(インド) 検収完了
- PPI (インドネシア) 検収完了
- Crane (米国) 検収完了

※他にも計画通りに検収中

- #### ▶国際通貨協会 最優秀技術賞受賞
- 銀行券印刷用コンビネーション
マルチプロセス番号コーター印刷機

下期計画の重要施策

▶重要商談の受注獲得

- アジア圏を中心とした大型一括商談の成功 (下期~FY74上期)
- CURRENCY ON DEMANDの進化

CURRENCY NV 32

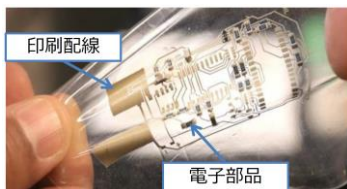


PE・精密機器事業

- ・活況な電子部品、半導体業界などをターゲットにした新機種およびセリアの強み（エンジニアリング力と対応力）を訴求し拡販を図る

上期成果

- ▶国内重要顧客からの受注獲得
- ▶産業界、大学研究機関と連携強化
オープンイノベーションを加速



ギャップレスR2Rスクリーン印刷機
"RYURONE"



米国「NextFlex」主催
Innovation Dayの様子

下期計画の重要施策

- ▶海外事業の事業拡大
 - ・中華圏の拡販体制構築
 - ・アジア市場向けコスト競争力強化
- ▶生産対応力の強化
 - ・国内、海外の生産体制を整備強化
 - ・中国での半自動機生産開始
- ▶内覧会EXPO SEIRA開催での販促の強化

PESP事業 年間売上計画

- ・コネクテッド・オートメーションによる印刷工場の最適化提案による販促強化
- ・ KP-Connectを基軸とした、KOMORIのICT Solutionの推進

上期成果

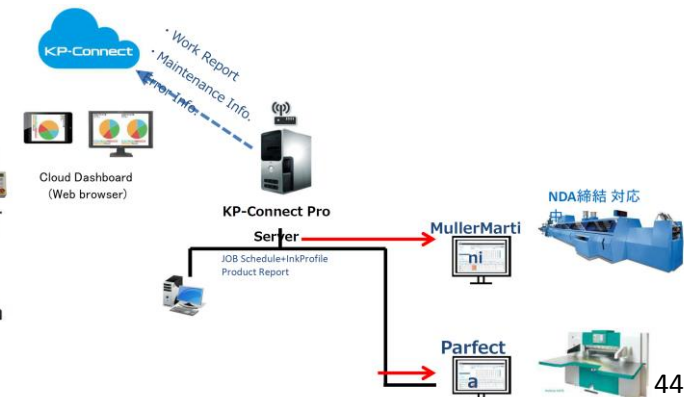
- ▶ ICT-Solution拡大
 - ・ KP-Connect拡大
 - ・ KP-ConnectとPre-press/Post-pressの他社との連携強化
- ▶ 自動化設備提案の強化
 - ・ 自動搬送システム搭載断裁機
 - ・ ブランカー



Apressia CTX132
(自動搬送システム搭載 断裁機システム)

下期計画の重要施策

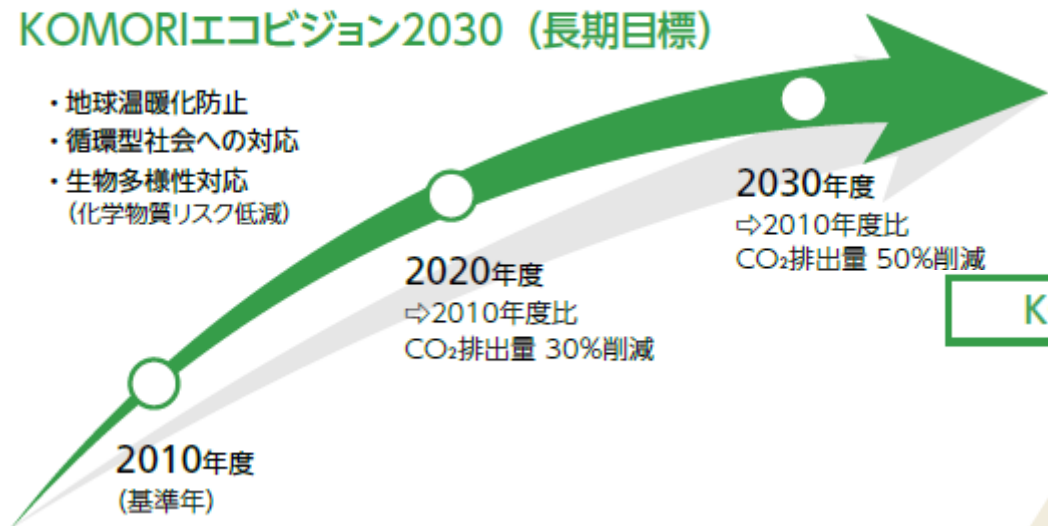
- ▶ 海外PESP事業の販売強化
 - ・ K-INKの海外展開の推進
 - ・ KP-Connectの海外展開の推進
- ▶ 機材ビジネスの拡大
 - ・ 自動化設備の提案強化



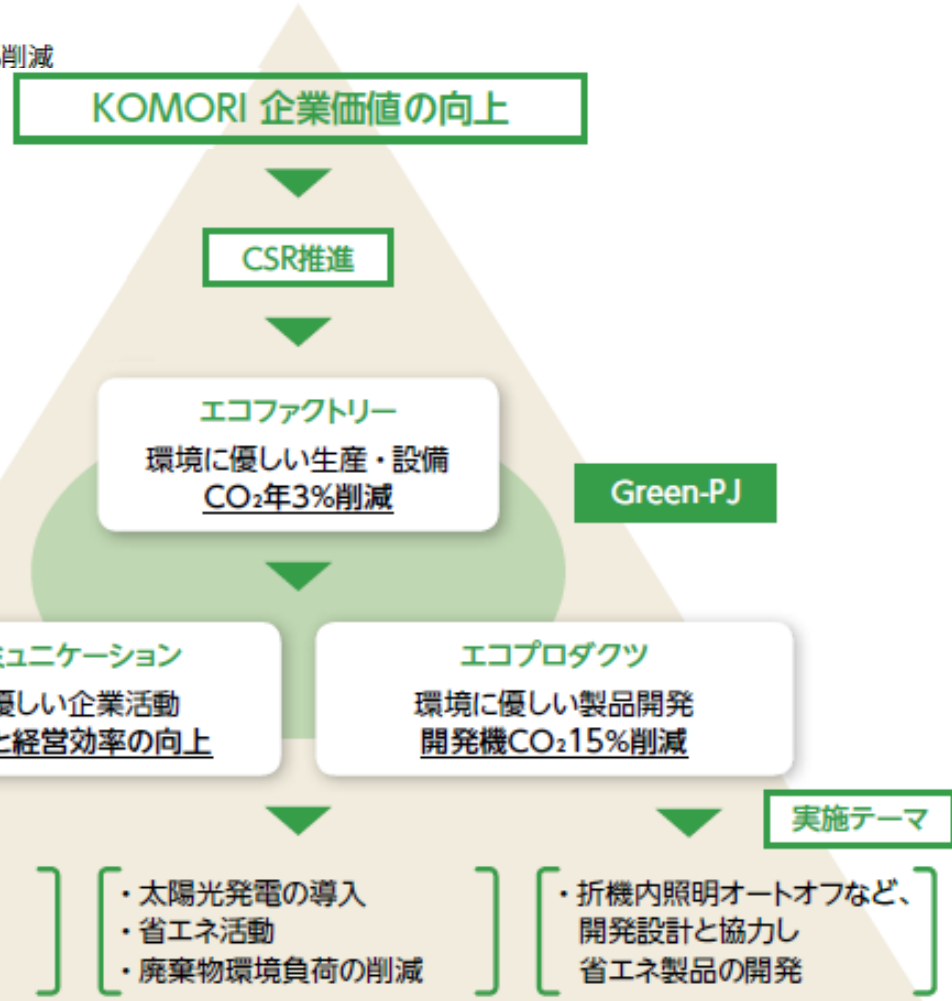


KOMORIエコビジョン2030 (長期目標)

- ・地球温暖化防止
- ・循環型社会への対応
- ・生物多様性対応
(化学物質リスク低減)



**つくばプラント2017年度実績
CO₂排出量△28% (2010年度比)**



7 エコモードを有効に
して省エネに

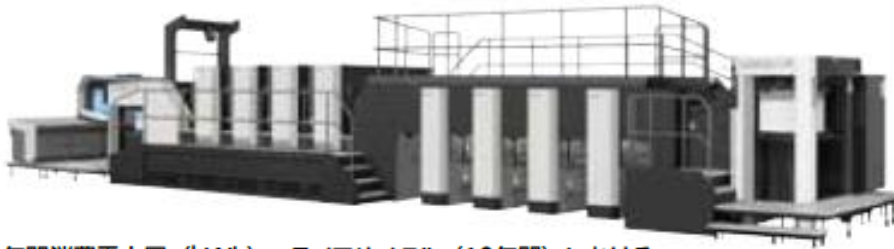
12 つくる責任
つぐす責任

13 自然資源に
負けない材料を

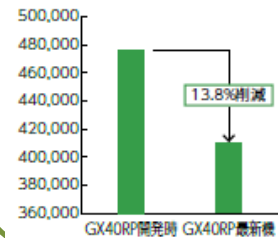
エコプロダクト

GX40RP

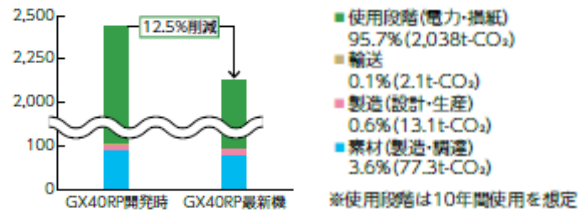
H-UV L システム



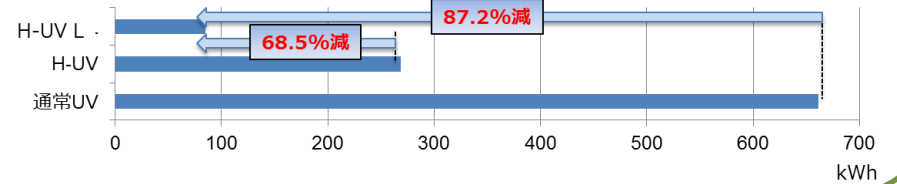
年間消費電力量 (kWh)



ライフサイクル (10年間) における CO₂削減量 (t-CO₂)



<1日の総消費電力比較>



エコファクトリー

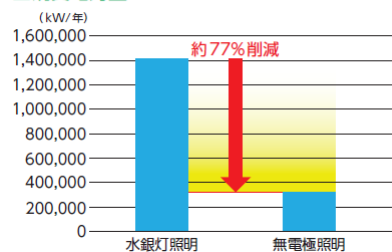
太陽光発電



工場内照明



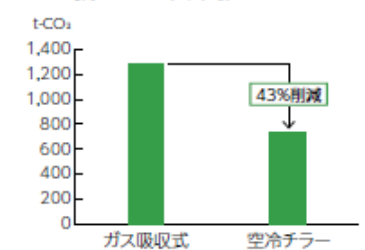
消費電力量



工場空調熱源



CO₂排出量 (年間)





- ※ 当資料に含まれている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
- ※ 当資料では、表示未満単位を四捨五入して表示しており、内訳と合計が一致しない場合があります。